

# 牛道春秋

## 駐在妻の欄

▼ある夏の日、保育園の送迎バスから降りてきた長女が突然「もうハゲてきたから嫌だ。新しいのに替えて！」と言ってきた。▼私は、夫が長女のお見送りをした際、長女から「帽子は？」と暗に「ハゲを隠せ。」と言われたことを知っていました。▼私は夫の頭を思い浮かべ「ハゲてきた。」ではなく「ハゲ散らかしている。」だとツツコミながら、それでも夫のことを大好きだった長女が、どうしてそんなことを言い出したのかかとビックリしました。▼しかし、心を落ち着かせ、よくよく話を聞くと、夫の事ではなく、お気に入りだったトトロ柄の水筒の塗装が剥がれてきたので替えて欲しいということだと分かりました。▼長女は、「来年から小学一年生になるので、キャラクター物ではなくシンプルな物が良い。」とも言っていました。▼私は、もののけ姫の木霊(コダマ)の様な頭をした夫と、Vガンダムのプラモデルでゴっこ遊びをしている小学3年生の長男を横目で見ながら、「おませなことを言うようになったもんだ。」と長女の成長を感じ感慨に浸りました。▼そして入学式までには、「まっくろくろすけ」くらいシンプルな新しい水筒を買うことを約束しました。